

スーパージョッキーズトライアル2014

ワイルドカード Wild Card

出場11名

施行日 **9/20(土)**

施行場 **佐賀競馬場**

競走名 **SJT・WC第1戦 ブロンズサドル賞**
SJT・WC第2戦 ブロンズホイップ賞



- ・北海道、岩手、金沢、笠松、愛知、兵庫、高知、佐賀所属騎手(各1名)
2014年1月1日から8月29日までの所属場での勝利数順位が2位の騎手
- ・南関東地区所属騎手(1名)
2014年1月1日から8月29日までの南関東地区での勝利数順位が5位の騎手
- ・招待競走地方競馬代表騎手選定委員会が選定した騎手(2名)

第1ステージ 1st Stage

出場14名

施行日 **10/6(月)**

施行場 **盛岡競馬場**

競走名 **SJT第1戦 シルバーサドル賞**
SJT第2戦 シルバーブライドル賞



- ・北海道、岩手、金沢、笠松、愛知、兵庫、高知、佐賀所属騎手(各1名)
2014年1月1日から8月29日までの所属場での勝利数順位が1位の騎手
- ・南関東地区所属騎手(4名)
2014年1月1日から8月29日までの南関東地区での勝利数順位が1位～4位の騎手
- ・SJTワイルドカード優勝騎手及び第2位の騎手(計2名)

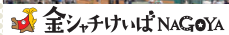
第2ステージ 2nd Stage

出場12名

施行日 **10/23(木)**

施行場 **名古屋競馬場**

競走名 **SJT第3戦 シルバーブーツ賞**
SJT第4戦 シルバーホイップ賞



- ・第1ステージのポイントが第1位～第12位の騎手

第28回ワールドスーパージョッキーズシリーズ

施行日 **11/29(土)・30(日)**

施行場 **JRA東京競馬場**

SUPER JOCKEYS TRIAL

歴代優勝者

2006年 濱口 楠彦 (笠松)



■ ワールドスーパージョッキーズシリーズ9位

2007年 赤岡 修次 (高知)



■ ワールドスーパージョッキーズシリーズ3位

2008年 菅原 勲 (岩手)



■ ワールドスーパージョッキーズシリーズ8位

2009年 的場 文男 (大井)



■ ワールドスーパージョッキーズシリーズ15位

2010年 杉村 一樹 (荒尾
現川崎)



■ ワールドスーパージョッキーズシリーズ6位

2011年 吉原 寛人 (金沢)



■ ワールドスーパージョッキーズシリーズ2位

2012年 山口 勲 (佐賀)



■ ワールドスーパージョッキーズシリーズ6位

2013年 川原 正一 (兵庫)



■ ワールドスーパージョッキーズシリーズ7位



SUPER JOCKEYS TRIAL 2014

スーパー
ジョッキーズ
トライアル



Hero
Super Jockeys Trial 2014
スーパージョッキーズトライアル2014

www.keiba.go.jp/sjt2014/

SJT2014 検索

Wild Card
9/20(土)
佐賀競馬場

1st Stage
10/6(月)
盛岡競馬場

2nd Stage
10/23(木)
名古屋競馬場

SJT本戦出場騎手



宮崎 光行 (北海道)

2回目

北海優駿を4勝、昨年12月にはハッピープリントで全日本2歳優駿(Jpn1)を勝利した実績がある、大舞台に強いベテラン騎手。最近ではケガに泣かされるシーズンも多かったが、今年は開幕から順調に勝利を重ねて、2008年以降のSJT出場となった。そのときの結果は13位だったが、今回はジャンプアップを狙いたい。

2014年成績	262戦57勝(重賞1勝)	北海道1位
過去のSJT最高成績	2008年13位	



村上 忍 (岩手)

4回目

長らく、菅原勲、小林俊彦のビッグツリーに次ぐ位置で争ってきたが、2008年に初の世代交代を果たし、それ以後は2010年を除いて岩手のトップとして君臨。SJTには通算4回目の出場となるが、これまでの最高は2011年の6位。今年は第1ステージが地元の高岡競馬場となるのは、大きなアドバンテージとなる。

2014年成績	547戦107勝(重賞7勝)	岩手1位
過去のSJT最高成績	2011年6位	



森 泰斗 (船橋)

4回目

1998年に栃木(宇都宮・足利)でデビューし、2005年から船橋に所属。その後は徐々に成績を上げて、初めての重賞勝利を飾った2010年からは、年間3ケタ勝利を継続中で、今年は初の南関東リーディング獲得が視野に入っている。SJTには2011年以降毎年出場しており、そろそろ大きな結果が欲しいところだ。

2014年成績	1071戦152勝(重賞1勝)	南関東1位
過去のSJT最高成績	2012年6位	



御神本 訓史 (大井)

4回目

1999年に島根・益田競馬場でデビューし、2年目にしてリーディングジョッキーになるなど、早くからその才能を開花させた。2002年に大井に移籍してから活躍を続け、昨年ついに南関東リーディングの座を獲得。トップジョッキーとしての地位を揺るぎないものとした。過去のSJTでは3位が最高で、今年こそ悲願の優勝を目指す。

2014年成績	740戦137勝(重賞1勝)	南関東2位
過去のSJT最高成績	2008・2013年3位	



真島 大輔 (大井)

3回目

2001年のデビュー後は苦戦が続いたが、2005年から上昇を開始して2008年以降は年間100勝以上と南関東の上位の座を確かなものに。昨年は通算1000勝を達成し、年間でも201勝の好成績を挙げたが、SJTでは第1ステージで敗退となる13位。一昨年も12位と思うような結果を出せていないが、一気に浮上を狙いたい。

2014年成績	986戦129勝(重賞0勝)	南関東3位
過去のSJT最高成績	2012年12位	



の場 文男 (大井)

9回目

昭和48(1973)年10月の初騎乗からのキャリアは40年以上。積み重ねた勝利は6600を超えている「レジェンド」。南関東リーディングは2003年を最後に遠ざかっているが、それでも常に上位の勝ち星をマークしており、関係者やファンからの信頼は厚い。SJTでは2009年に第2ステージで2勝を挙げて優勝した。

2014年成績	783戦92勝(重賞1勝)	南関東4位
過去のSJT最高成績	2009年1位	



吉田 晃浩 (金沢)

2回目

2000年に山形・上山競馬場でデビューして、浦和を経て金沢に移籍。2008年から4年連続で金沢2位となり、一昨年初のリーディングを獲得した。昨年も接戦を制して2年連続のトップを守ると、今年は開幕から快進撃を続け、2位以下に大差をつけてリーディングを独走中。SJTには2012年(7位)以来、2度目の出場となる。

2014年成績	320戦76勝(重賞2勝)	金沢1位
過去のSJT最高成績	2012年7位	



向山 牧 (笠松)

初出場

1983年に新潟県競馬場でデビューして、同競馬の廃止までに9回のリーディングを獲得。2002年に笠松競馬に移籍して活躍を続け、昨年は笠松でもリーディングの座についた。SJT本戦には初出場となるが、昨年ワイルドカードに出場し、2位と1ポイント差で惜しくも本戦への切符を逃した悔しさを晴らしたい。

2014年成績	315戦76勝(重賞0勝)	笠松1位
過去のSJT最高成績		



丸野 勝虎 (愛知)

初出場

2003年東海ステークス(GII)、2004年名古屋優駿(GIII)を優勝するなど、ここ一番で頼れるベテラン騎手。地元では騎手会長の重責も担う。過去のリーディングは2位が最高だが、今年は初のトップが狙える位置にいる。SJTにはワイルドカードを含めて初出場。第2ステージが行われる地元の名古屋競馬場で、歓喜の瞬間を迎えたい。

2014年成績	379戦98勝(重賞3勝)	愛知1位
過去のSJT最高成績		



木村 健 (兵庫)

5回目

2006年以降、合計4度リーディングに輝いた兵庫のトップジョッキー。ここ4年で兵庫ダービーを3回制すなど大舞台にも強く、今年はかきつばた記念(JpnIII)で念願のダートグレード初勝利を飾った。SJTには過去に4回出場しており、2011年にはわずか1ポイント差で涙を飲んだ。その悔しさをバネに、今年こそリベンジを狙ってほしい。

2014年成績	753戦179勝(重賞6勝)	兵庫1位
過去のSJT最高成績	2011年2位	



赤岡 修次 (高知)

9回目

2006年から8年連続リーディング、2007年以降は年間200勝以上を7年連続で達成している高知競馬の絶対王者。SJTでは2007年に総合優勝を果たし、ワールドスーパージョッキーズシリーズでも1勝を挙げて総合第3位に入る活躍を見せた。それ以降のSJTでは7位以下が続いているが、改めてここで存在感を見せたいところだ。

2014年成績	477戦142勝(重賞2勝)	高知1位
過去のSJT最高成績	2007年1位	

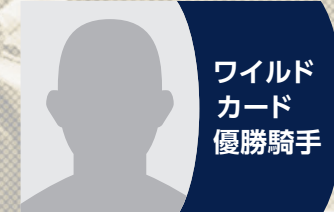


山口 勲 (佐賀)

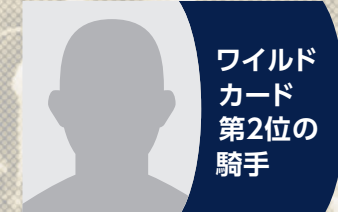
8回目

2008年以降、圧倒的な成績でリーディングの座に君臨続ける佐賀の名手。2010年には294勝を挙げ、九州地区所属の騎手としては25年振りとなる地方競馬全国リーディングを獲得した。SJTには過去7回出場して、2012年に総合優勝。ワールドスーパージョッキーズシリーズでも第2戦で勝利を挙げ、存在感を示した。

2014年成績	426戦124勝(重賞10勝)	佐賀1位
過去のSJT最高成績	2012年1位	



ワイルド
カード
優勝騎手



ワイルド
カード
第2位の
騎手

ワイルドカード出場騎手

岩橋 勇二 (北海道)

田中 学 (兵庫)

山本 聡哉 (岩手)

永森 大智 (高知)

山崎 誠士 (川崎)

鮫島 克也 (佐賀)

藤田 弘治 (金沢)

招待競走地方競馬代表騎手選定委員会選定騎手 (2名)

吉井 友彦 (笠松)

川原 正一 (兵庫)

岡部 誠 (愛知)

吉原 寛人 (金沢)